

白石市民春まつり ～片倉公まつり～

◎白石市春まつり協議会（白石市民春まつり祭典事務所）
☎0224-24-4610 <http://harumatsuri.gozaru.jp>

藩政時代、町人は日常生活でさまざまな規制があり、開放的になれる機会を求めていました。長町には、神明社神主佐藤山城守宅の屋敷神があり、町の氏神として人々がまつりを行いたいと願いました。5代城主、村休によってまつりの許しができると、長町の町人は早速、小さな神輿を作り、お囃子とともに4月15日と16日、6町を巡りました。これが春まつりの始まりだといわれています。

その後、一度は途絶えていたまつりですが、昭和49年、白石青年会議所の手で復活されました。昭和56年までは、桜が咲き誇る4月22日に開催。この日はまつりに関係する一部の学校などが休みとなり、白石のまちがまつり一色に染まっていました。

昭和57年、開催日が5月3日に変更された以降も今に続くこのまつり。その中でも、最も盛り上がりを見せるのは、「しろいし大行列」と人々は口々にいいます。華やかに着飾った子どもたちが山車を引いたりする稚児行列、さまざまに工夫した飾りをつけてまちを練り歩く山車の数々は、白石の春の風物詩。

「白石市民春まつり」片倉公まつり」をどうぞごゆっくりお楽しみください。

白石市民春まつりの見どころ！

Interview

毎年、新しいアイデアや工夫が凝らされている「白石市民春まつり」。実行委員長の我妻勉さんと、イベント部長の遠藤直秀さんに、見どころなどを伺いました。



春まつり実行委員長
あがつま つとむ
我妻 勉 さん

私は、白石青年会議所に所属していた約35年前から、「白石市民春まつり」に携わっています。このまつりは、毎年、実行委員会のメンバーが入れ替わる中で、歳の離れた人たちと作り上げていくところがとても楽しいです。

春まつりのスタートは、神明社の神輿渡御の後に、各地区を山車が1台付いて回っていたのが原型です。一度は途絶えていたまつりですが、昭和49年、

青年会議所の手で復活。神社の神事という伝統的な部分に、新しいまつりの要素が加わり今の形になりました。

地区限定のまつりではなく、たくさんの市民の方々が参加してくれるという意味でも、私たちだけではなく、市民の皆さんと一丸となって開催しているまつりだと思います。

今年の「白石市民春まつり」は、「全日本ストリート足軽選手権大会」や「米俵相撲大会」など、「参加して」楽しんでよし、「たから音」で音楽の響く城下町しろいしを見て、「聴いて」楽しんでよし！ さまざまなイベントで皆さんに笑顔をお届けします。ぜひ会場に足を運んで白石の春まつりをお楽しみください。

春まつり会場に来ていただく皆さんの、楽しそうな笑顔を想像しながら、まつりを作り上げていく課程が特に楽しいです。今年の見どころはズバリ！

「たから音第2部」にある「ニホンジンミニコンサート」！ 仙台のライブハウスで磨きをかけた歌声で、会場は大盛り上がりになるはず。ニホンジンは、エフエム仙台の「白石よござりす」でもお馴染みで、白石市出身のエムサイズ佐久間さんがボーカルを務めるバンドです。

「しろいし大行列」や「足軽選手権」などでは、市民の皆さん、「たから音」では、すまゐ大使（観光大使）の「山崎パニラ」さん、「白石戦國武将隊【奥州片倉組】」、「ニホンジン」、そして、「白石市民吹奏楽団」、「よさこい走乱白石城」など、たくさんの人たちが集結します。

私は「全日本ストリート足軽選手権」の企画に携わりましたが、参加する人だけではなく、見ている人も楽しめるようなイベントにしました。会場に来ていただいた皆さんを巻き込んで盛り上げられる、楽しいイベントが盛りだくさん！ 「白石市民春まつり」にぜひお越しください。



春まつりイベント部長
えんどう なおひで
遠藤 直秀 さん



5月3日(祝)9:30～